

自主・自律的活動に向けて

校長 三谷 龍司

今年度も早いもので3か月が経とうとしています。各学年それぞれに、課題として捉えられていることが徐々に改善されて活動している様子が見られます。自覚をもち、責任ある意欲的な活動となるように引き続き指導、支援に取り組んでまいります。

さて、今年度も天候、グラウンドコンディションなど心配された体育祭でしたが、競技内容等検討し、保護者の皆様および来賓など関係者の方々にご参観いただき、生徒が一堂に会して実施することができました。明るくかつ健やかに活動し、お互いを励ましあう姿には非常に素晴らしいものです。これから実施される中体連やコンクールなど部活動での活躍も期待するところです。



学校行事は、生徒たちを飛躍的に成長させる、最大の教育的営みと言えます。本校においても、学校教育目標『自らの学びを活かし 互いに助け合い 未来を創造する生徒の育成』の達成のため、学校生活・学習活動を通して、準備過程における「創意・工夫する力、発表する・表現する力」を育てていきたいと考えております。また、「生徒の主体的・共同（協働）的な活動を通して、自立・互恵・貢献の態度を養い、自分たちで成し遂げた成就感を味わわせる。」といった「ねらい」があります。このねらいの達成に向けて、私達教職員は、いかに行事を生徒自らのものとして自覚させ、どのように取り組ませるかを意識して実践し、生徒の変容を目指していかなくてはなりません。



教育活動を実施するうえにおいて非常に重要と言われていることに、『子どもたちに「自分はなくてはならない存在であり、何かしなくてはならない時には、それを立派に成し遂げられる力がある」という自己有用感や自己肯定感をもたせる』ということがあります。本校においても課題として捉えられる部分です。この課題の解決には、努力することの大切さや自らの良さを生徒に気づかせていくことが求められます。そうして、それらを経ることで、生徒だけでなく、教職員も大きく充実し飛躍するという、とても意義あるものでもあります。生徒にとって1つの行事の企画・運営を通して培われる自主性、責任感等々はとても重要で、今後生きていく上での土台ともなる大切な力でもあるのです。そのことを念頭に置きつつ、「青柳ネットブロック」の学校として、地域や保護者の皆様のご理解・ご協力を得た中で、地域の中の学校行事でありたいという思いをもち、今後も教職員が一丸となり支援・指導してまいります。



あらためまして、保護者・地域・各関係機関の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校内体育祭開催！

5月31日（金）、天候があやぶまれる中でしたが、校内体育祭を実施できました。昨年度に引き続き3つの団体種目（青柳旋風・長縄跳び・全員リレー）に全力で取り組む様子が見られました。たくさんの保護者の皆様および関係者の方にもご参観いただき、沢山の声援をいただきました。

お互いに応援する声、励まし合う声とそれに全力で応える姿に学級・学年としての成長を感じます。当日はもちろん、それまでに積み重ねてきた事柄がそれぞれの成長の糧になっていたのではないのでしょうか。

応援いただいた皆様、ありがとうございました。



いじめ見逃しゼロに向けて

本校では、「いじめ見逃しゼロ」に向けて、定期的にアンケートや教育相談を実施しております。

先日のアンケート等において、学校生活で友人関係のトラブル等、嫌な思いをしたことがある生徒が13名いることが分かりました。現在安心して学校に通うことができるよう、解消に向けた取組を進めております。

お子さまの様子や発言等で気になることがありましたら、どんな些細なことでもかまいませんので、学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

3年生修学旅行5月16日（木）～18日（土）【東北方面】

3年生が2泊3日の修学旅行を実施いたしました。盛岡での自主研修や手作り村での制作体験、秋田わらび座（ゆぽぽ）でのダンスプログラム体験など日頃できない体験をしてきました。2泊3日の中でさまざまな経験をし、一回り成長してくれたのではないのでしょうか。

総合的な学習の時間で、それぞれのテーマに基づいたまとめのレポートを作成中です。その後、発表会を予定しています。



〈生徒会役員補充について〉

生徒会書記次長（2年）に欠員が生じたため、2年A組若林柚希さんが承認されました。生徒会のスローガン「飛翔～高みをめざして」の下、任期満了まで活躍を期待しています。



〈情報モラル教室〉

1年生を対象に情報モラル教室を実施しました。西警察署の方を講師にSNSの怖さやトラブルにあった時のこと、携帯・スマホの適切な使用についてお話ししていただきました。

ゲームの課金や、SNSでのつながりから事件事故に巻き込まれるケースが後をたちません。

ご家庭でも話題にしてお子様と話し合っていたら幸いです。

